

「もったいない」を 「分かち合い」～ 「ありがとう」へ



フードバンクかながわ 報告資料

2022年8月31日

公益社団法人フードバンクかながわ
事務局長 藤田 誠



ホームページ
<https://www.fb-kanagawa.com>



フードバンクかながわの設立目的 (モットー・キーワード)

「もったいない」を

《食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かす》

「分かち合い」~

《フードバンクを通じて、地域のたすけあい・支え合いを実現》

「ありがとう」へ

《生活に困っている人・社会的に弱い立場にある人々の
食のセーフティーネットをめざす》

フードバンクかながわのしくみ

イメージ図



日本の食品ロスの状況（令和元年度）

日本の「食品ロス量」

約570万トン

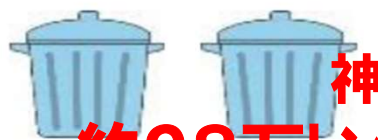


神奈川県 約50万トン



事業系

約309万トン



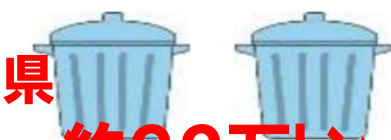
神奈川県

約28万トン



家庭系

約261万トン



約22万トン



国民1人当たり食品ロス量

1日 約124g

※ 茶碗約1杯のご飯の量に近い量

年間 約45kg

※ 年間1人当たりの米の消費量（約53kg）に近い量



資料：総務省人口推計(2019年10月1日)
令和元年度食料需給表（確定値）

神奈川県内の家庭から出される食品ロス(2019年)

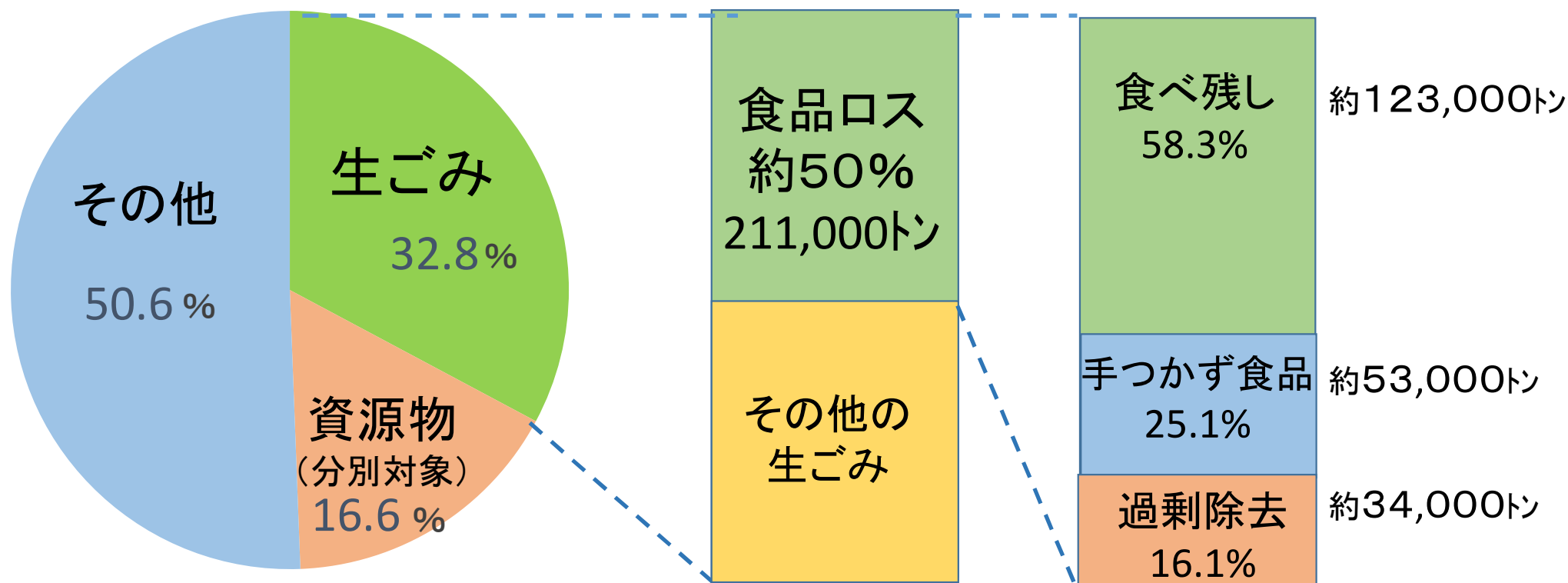
食品ロス発生量=211,000トン/年(事業系:277,000トン/2018年)

◆処理費用約84億8600万円(1t当たり40217円)

◆温室効果ガス排出量(CO2)=約53,592トン(1t当たり243.6kg)

燃やすごみの組成調査結果(2018年)

食品ロスの種類と発生量(2018年度推計)

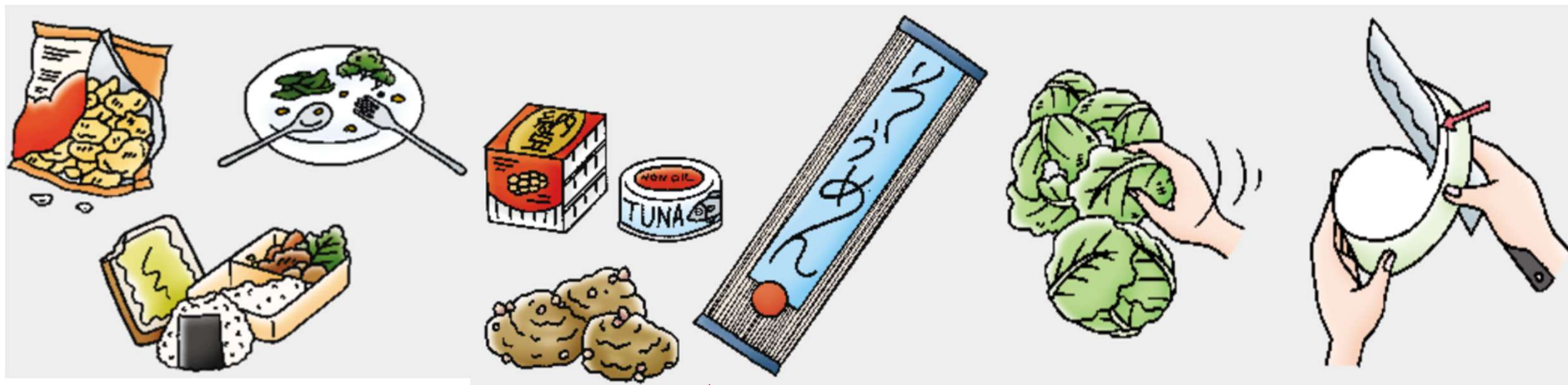


神奈川県環境農政局及び横浜市資源循環局のデータを基にフードバンクかながわで算出した推計値

神奈川県内の家庭系食品ロスの焼却費用・CO2排出量

◆処理費用約84億8600万円(1t当たり40217円)

◆温室効果ガス排出量(CO2) = 約51,400トン(1t当たり243.6kg)



食べ残し 123,000トン

・作りすぎ・買い過ぎ・好き嫌い・
ちょっと残し等

◆処理費 = 49.5億円/年

●CO₂ = 31,083トン

手つかず 53,000トン

調理されず、何も手がつけら
れずに廃棄される食品

◆処理費 = 21.3億円/年

●CO₂ = 12,911トン

過剰除去 34,000トン

野菜や果物の皮を厚くむきす
ぎたり、取り除きすぎたもの

◆処理費 = 13.7億円/年

●CO₂ = 8,282トン

神奈川県環境農政局及び横浜市資源循環局のデータを基にフードバンクかながわで算出した推計値



フードバンクかながわの現状

2022年8月29日現在

- 賛助会員入会状況 初期値(2022.4.1) ⇒ 2022.8.29現在
 - (1) 団体会員 204団体 ⇒ 210団体 (671口:1口1万円)
 - (2) 個人会員 291名 ⇒ 295名 (1,513口(1口千円))
- 寄付金 計画15,000,000円 ⇒ 10,879,550円
- 合意書締結状況
 - (1) 食品寄贈事業者 219社 ⇒ 239社(団体)
 - (2) 食品受取(行政・社協) 58団体 ⇒ 61団体
 - (3) 食品受取団体 223団体 ⇒ 239団体
- フードドライブ回収拠点 299カ所 ⇒ 320カ所



寄贈者



フードバンク
かながわ



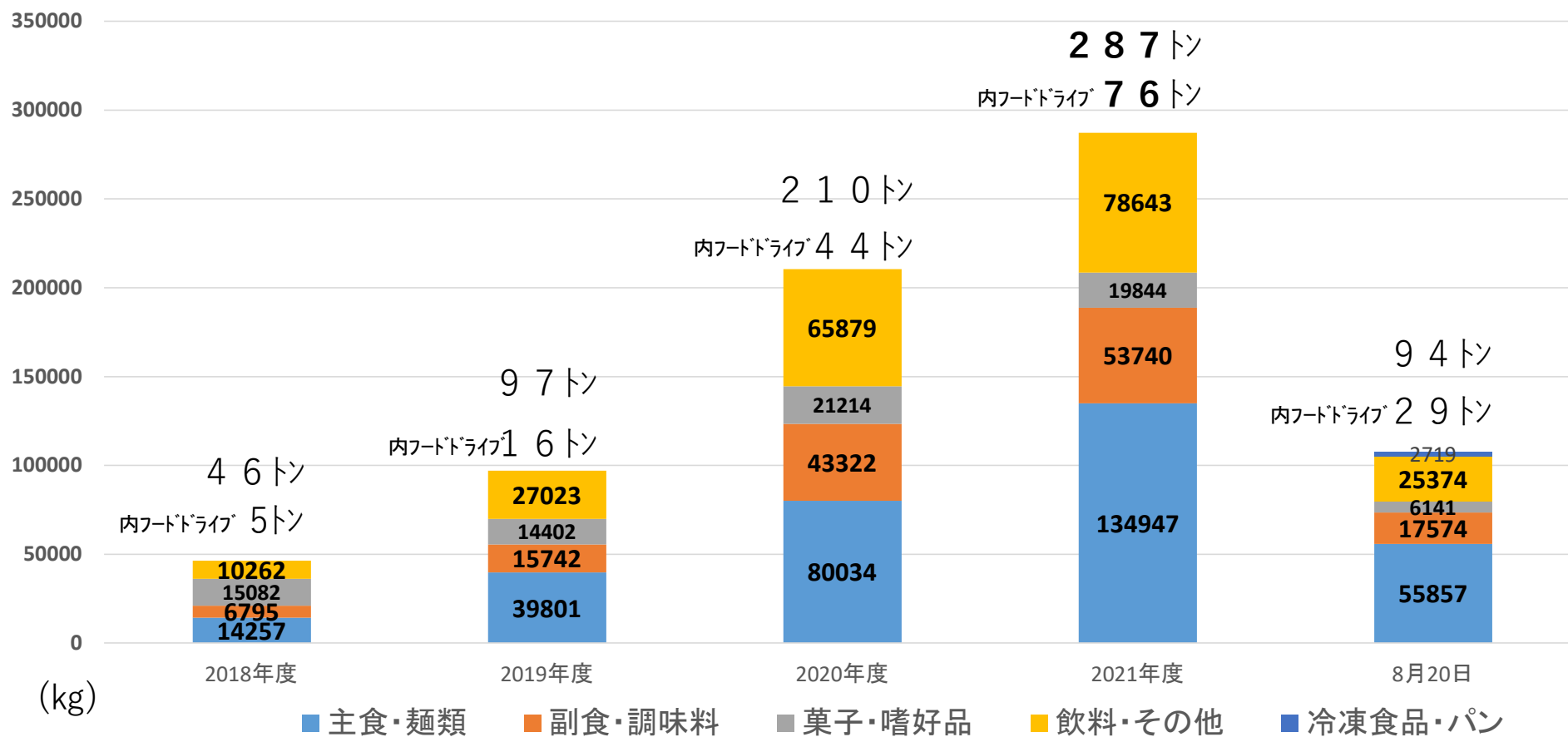
支援団体

企業： 様々な理由で販売困難となった
賞味期間残2か月以上の食品を寄贈・提供
行政・企業： 災害備蓄品などの提供
個人： 直送やフットドライブでの寄贈
◆**取扱い食品：** アルコール類を除く「常温保管可能食品」及び
お米、**冷凍食品（2022年度よりトライアル）**

◆**寄贈品の入庫管理・在庫管理・提供団体毎に仕分け・出庫管理（受渡・発送）**
◆**「食の支援を必要としている方々」を支援している団体や行政・社協等に無償提供**
◆**団体への情報提供**

提供食品の受渡し場所は、FB倉庫又は中継拠点まで
各団体から引取りにきていただきます。（送料着払も対応）
※直接、個人にはお渡ししません。

2018-2022年度食品寄贈重量(中分類別)



※その他＝ベビーフード、栄養補助食品、野菜、家庭用品など

21.4.1-3.31 **フードドライブ実績**

※点検・仕分終了分

ユーコープ 80店舗	14216kg
パルシステム神奈川	7599kg
生活クラブ生協	4683kg
その他生協(富士フィルム、ナチュラルコープ)	894kg
労働関係	8927kg
JA関係	1949kg
神奈川県	742kg
横浜市(栄・港南・金沢区役所)	876kg
横須賀市	1653kg
藤沢市・三浦市・伊勢原・綾瀬	1083kg
イトーヨーカドー18店舗	14315kg
そうてつローゼン17店舗	4037kg
イオン2店舗	768kg
無印良品38店舗	4094kg
FOOD & TIME ISETAN YOKOHAMA	219kg
中栄信用金庫	2728kg
小・中・高・大学生	1261kg
その他の団体・企業	5820kg
個人(持込・直送353名分)	4391kg
合計	80,266kg



1/4-31ユーコープ80店舗冬季フードドライブの中間回収分
357箱(左記の実績には含まず)

ボランティアの皆さんにフードドライブ食品の点検・仕分と併せて、お供え餅から切り餅を取り出し、袋詰め作業のお手伝いをいただいています。





平塚市立真土小学校5年生



開成町立開成南小学校4年生



横浜市立並木第一小学校 4年生



相模原市立田名小学校5年生



大和市立下福田小学校5年生



相模原市立上鶴間中学校の学習会と米一合運動贈呈式



仙台市立沖野中学校 修学旅行



東海大学



横浜市立大学



神奈川大学法学部



ひろがるフードドライブ

回収拠点300カ所を超える



横浜市立大学Table for Two



神奈川県庁(2回目)



YSCC(サッカーJ3)



神奈川県弁護士会



WE21ジャパンさかえ



中栄信用金庫



JA神奈川県中央会



東京サラヤ(株)



(株)伊達建設



明治安田生命



横浜YMCA



高野山真言宗青年教師会



韓国の労働組合よりマスク



社福いきいき福祉会



リュウカンパニーからは
手作りのクリスマスセット



Micronメモリージャパン



JA横浜たすけ愛チーム



たすけあいゆいへお渡し



無印良品港南台バース店



満福うえのまち子ども食堂へお渡し



そうてつローゼン

外国籍の労働者

外国人労働者数は、**正規労働者**170万人突破。
福祉制度の適用は、「見做し」扱い。言葉の壁。
コロナ禍で追い詰められた外国人労働者
→ 仕事を失っても祖国に帰れない（リーマンショック時と違う）
日本人からの厳しい差別。

ありがとうの声

・お金がない中で赤ちゃんが産まれてミルクも買ってあげられなくて困っていたところを助けてもらって。皆様にどうやってお礼を言ったらいいのか、ありがとうございます。（外国籍の女性）

食品支援が必要な世帯



外国籍の労働者への支援
ブラジルsoridario横浜

コロナ禍で学生も困難に

食品支援が必要な世帯



相模原市子ども若者支援課は 2020年5月に毎日9-5時学生への食支援を実施、その後も曜日を決めて継続的に実施
フードバンクからの提供10トン



横浜市立大学
公立大学で留学生、地方の学生が多い
フードバンクからの提供6.5トン

ありがとうの声

・正直に言うと食品をもらうことに恥ずかしい気持ちで一杯でした。気張ってくれた皆さんの顔も見られなかったのですが、「がんばってね」と笑顔で言っただき、涙が出そうになりました。（学生）

ひとり親世帯の半数が苦しい



食品支援が必要な世帯

くろーばーマーケット(来店型フードバンク)
byさくらんぼ

地域フードバンクの1つでもある「お福分けの会」(横浜市瀬谷区)では、ひとり親家庭を中心に約90世帯300名)に毎週食支援を行っています。

配布場所は現在12か所で、世帯構成にあわせて箱詰め、仕分け作業は、利用者みなさんも一緒に行っています。





地域のフードバンクに寄せられた ありがとうの声（コロナ前）

お米を頂けるようになってから、炊飯器の中にご飯がある状態になりました。子どもはそれがうれしくて、しょっちゅう炊飯器を開けて確認しています。子どもの笑顔も見れるようになりました。ありがとうございました

いろいろな食べ物を頂けているので、食べ物のレパートリーが増えました。子どもも毎回「これ何？」と聞きながら食べています。学校で恥ずかしい思いをすることも少なくなってきたようです。

子どもに朝ご飯を食べさせることができるようになりました。それまでは朝は食べずに、給食まで我慢していました。ありがとうございました。

ありがとうの声

中学生の子どもにおにぎりだけですが、お昼ごはんを持たせてあげられるようになりました。それまでは保健室に行ったりトイレに行ったりとしていたそうです。子どもも毎日嬉しそうに学校に行くようになりました。

果物や野菜など新鮮な物を頂くことが出来ます。特に果物やお菓子などは買うこともできないのでとてもありがたいとおもっています。

運動会の際にお弁当を作ってもっていきました。いつもより多いおにぎりやおかず子ども達は大喜びでした。私も楽しい時間を過ごせました。

ごはんを食べさせることができるようになり、子どもが少しですがふっくらとしてきて子どもらしくなってきました。とてもうれしい出来事です。

ありがとうの声

- うちは中学生・高校生の育ち盛り食欲旺盛で食費がかかっていたので、とても感謝しております。感動して一人で泣いてしまいました。子供たちにばれないように。自分が置かれている環境事実を改めて再確認しました。皆様に支えられているんだなあと思いました。（ひとり親世帯）
- 毎日働きながらの子育ても終盤に差し掛かり、手間はかからなくなりましたが、金銭面や自分が倒れたら困るなどの不安にさいなまれます。この支援が寄付によるものと知り、大変温かい気持ちになりました。（ひとり親世帯）
- コロナの影響で減給のうえ、シフトも減り先行き不安な中、今回の支援を知りました。昨今は母子家庭に対する風当たりも強く助けを求めることがはばかれていましたが、たすけてくださる方々がいるということがとても心強かったです。（ひとり親世帯）
- 仕事から帰ってきて、ご飯作らなきゃ。お米が減ってきてるな、と考えていた時にピンポンがなり、届きました。たくさんの食料、お菓子そしてメッセージの紙。すごく励まされました。このご時世ですが、頑張ろうと改めて感じました。
- 普段は買えないようなおいしそうなお米や、子どもが喜ぶおやつまで。大切に頂きたいと思います。レトルト食品もとても助かります。



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



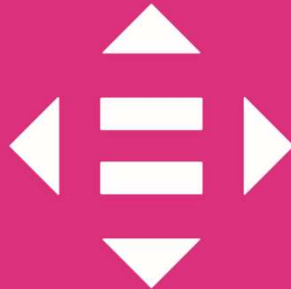
3 すべての人に健康と福祉を



8 働きがいも経済成長も



10 人や国の不平等をなくそう



12 つくる責任 つかう責任



17 パートナーシップで目標を達成しよう

